

目 次

まえがき

第 I 部 態度の形成過程

第 1 章 政治的社会化	2	【太田昌志】
1 はじめに	2	
2 伝統的な政治的社会化研究とその限界	3	
3 政治学における政治的社会化への再注目	6	
4 教育研究における政治的社会化の展開	8	
5 政治的社会化研究の今後の課題	12	
第 2 章 ライフサイクル	13	【秦 正樹】
1 ライフサイクル理論とは何か	13	
2 ライフサイクルを構成するライフイベント	15	
3 「年齢」はライフサイクル効果を意味するのか	16	
4 ライフイベントの効果	17	
5 ライフサイクル研究の今後の課題	23	
第 3 章 メディア	25	【大森翔子】
1 メディア情報環境の変容	25	
2 メディア効果論の展開	27	
3 近年におけるメディアと政治意識研究の主要トピック	32	
4 メディアと政治意識研究の今後の課題	37	

第Ⅱ部 態度の様相

第4章 政治的疎外感	40	
		【岡田暲生】
1 政治的疎外感の多様な帰結・原因	40	
2 政治的疎外感の第1の柱——政治不信	42	
3 政治的疎外感の第2の柱——政治的無力感	45	
4 政治的疎外感の規定要因	47	
5 政治的疎外感研究の今後	49	
第5章 手続き的公正	53	
		【中谷美穂】
1 公正認識の定義と研究系譜	53	
2 社会的公正研究における公正要件	55	
3 政治的文脈における公正要件と公正認識	58	
4 公正認識の効果・帰結	62	
5 手続き的公正研究の課題	65	
第6章 経済評価	67	
		【大村華子】
1 はじめに	67	
2 マクロ・レベルのデータを使った経済投票の研究	69	
3 ミクロ・レベルの観察データを使った研究	72	
4 日本の経済投票の研究	77	
5 経済投票研究の今後の課題	80	
第7章 イデオロギー	82	
		【遠藤晶久】
1 なぜイデオロギーか	82	
2 イデオロギーとは何か	84	
3 イデオロギーの測定	88	

- 4 イデオロギーはどこから来るか 92
- 5 イデオロギー研究の今後の課題 94

第8章 価値観 96

【日野愛郎・貫井 光】

- 1 はじめに 96
- 2 価値観の変動と世代間の対立 97
- 3 価値観の規定要因 102
- 4 価値変容の帰結 106
- 5 新しい研究潮流と今後の研究 107

第9章 対外政策 111

【松村尚子】

- 1 対外政策と世論をめぐる研究とその発展 111
- 2 対外政策に対する世論の形成要因 115
- 3 対外政策に対する世論の影響 120
- 4 対外政策と世論に関する研究の今後 123

第III部 課題の中の政治意識

第10章 排外主義 128

【五十嵐彰】

- 1 争点化する移民と排外主義政治争点としての移民 128
- 2 集団脅威 130
- 3 集団間接触 134
- 4 排外主義と差別 137
- 5 排外主義研究の今後の課題 142

第11章 政治的分極化 143

【小椋郁馬】

- 1 現代的課題としての政治的分極化 143
- 2 測定方法 145

- 3 分極化をもたらす要因 148
- 4 分極化の帰結 152
- 5 政治的分極化研究の今後の課題 155

第12章 政治意識研究の方法 157

【三輪洋文】

- 1 サーベイ実験による因果関係の解明 157
- 2 間接質問法による機微情報の測定 164
- 3 政治意識研究方法論の今後 171

引用文献 173